

 **シンガポール語学研修** **常夏の国シンガポール**

シンガポール航空SQ637便で成田国際空港を出発し、約7時間でシンガポール・チャンギ空港に到着しました。現地スタッフに出迎えられ、学生寮に向かいます。日本ではダウンコートが必要な寒さでしたが、常夏の国シンガポールは31°Cです。準備の良い生徒は機内に着替えていました。今回は学生寮で4日間過ごします。学生寮に着き、食堂の一角でオリエンテーションを受けました。ユーモアを交えての説明に緊張していた生徒たちの表情もほころんでいました。今回の研修の最大目的は、現地の大学生に向けての英語プレゼンテーションです。 **ユーモアあふれるオリエンテーション▶**



空港到着後▲

 **市内散策
Research Program**

シンガポールは中国系、マレー系、インド系など様々な民族が生活する多民族国家で、英語・マンダリン(北京語)・マレー語・タミル語が公用語です。1965年にシンガポール共和国として独立し、アジア有数の近代国家といわれるまでの経済発展を遂げました。

今回のプログラムでは、グループに分かれてシンガポールマネージメント大学の学生と一緒に活動したり、現地の人にインタビューをしたりと、これまでの学習成果を発揮するよい場となりました。シンガポールが発展した歴史にも触れることができました。



▲マーライオンパークにて

 **プレゼンテーション**

中高一貫コースでは、高校2年生・シンガポール研修での英語プレゼンテーションを最終目標にして探究活動を進めており、「グローバル探究」という科目で、プログラムを組んでいます。中学1年生からペアや小グループでの発表を経験して大勢の前での発表に慣れるように経験を重ねています。発表の仕方や資料の集め方、スライドの作り方、さらにはアンケートやインタビュー、分析、クリティカルシンキングなども学習内容に入っています。同時進行で、国内外での英語体験もあり、生きた英語を学んできました。高校生となってからは自分の探究テーマをより深めて完成度をあげていきます。これらすべての経験が一貫コース生の自信となっています。

2025年12月11日～12月16日
中高一貫コース 高校2年生（全員）

 **平和学習****War Memorial Park
旧 FORD FACTORY**▲War Memorial Park
で中国語の碑文を読む生
徒（中国語履修者）▲旧FORD FACTORYには
たくさんの日本語の資料が

シンガポールは長年イギリスの管理体制下にいましたが、第二次世界大戦中の1942年から3年間は日本軍が占領していた土地です。初日にWar Memorial Parkを訪れました。公園内に四本の柱から成る塔が天高く聳えています。四つの柱は四つの民族の犠牲者を表しているのだそうです。日本軍による犠牲者を追悼するために作られたこの公園では毎年2月15日に戦没者追悼式が行われています。旧FORD FACTORYでは現地ガイドの方が日本占領下時代のシンガポールの話をしてくださいました。今回の研修で日本軍が他国を侵略し占領していたという事実を知り、加害者としての日本を実感した生徒が多くいました。平和について深く考える研修となりました。

 **ワークショップ・「水」**

▲仕組みを聞いています



ポンプを押すときれいな水が！▲

シンガポールの企業Wateroam社の方にお話を聞きました。世界では22万人もの人々が衛生的な水にアクセスできないこと、ウォーターフットプリント（環境負荷量）などの講義を受けました。後半はWateroam社が開発したという持ち運び式の浄水装置を見せてもらい、生徒たちも、実際にろ過された水を飲み、驚いていました。シンガポールでは「水」もタダではありません。世界で抱える「水」の問題について考えました。

 **ユニバーサルスタジオシンガポール**

最終日はユニバーサルスタジオ・シンガポール（USS）で過ごしました。現地の人達に話しかける姿もあり、成長を感じました。あいにくの空模様でしたがとてもよい思い出になりました。